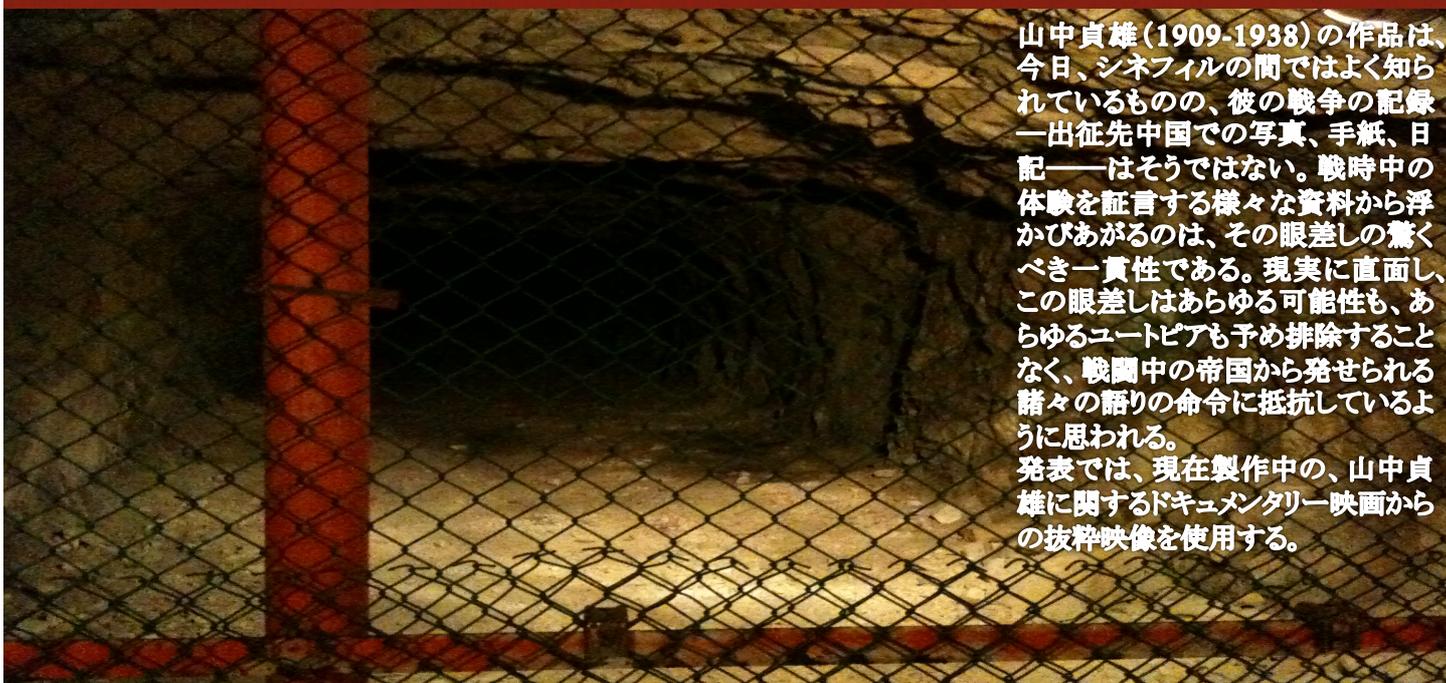


アントワーヌ・ドウ・ムナ (映像作家)
ANTOINE DE MENA

YAMANAKA SADAŌ'S CINEMA AND RECORDS OF WAR EXPERIENCE

AN EXAMPLE OF RESISTANCE TO NARRATIVES OF EMPIRE

DISCUSSANT: マーク・ロバーツ MARK ROBERTS (UTCP)
MODERATOR: 馬場智一 BABA TOMOKAZU (CPAG)



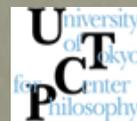
山中貞雄(1909-1938)の作品は、今日、シネフィルの間ではよく知られているものの、彼の戦争の記録—出征先中国での写真、手紙、日記—はそうではない。戦時中の体験を証言する様々な資料から浮かびあがるのは、その眼差しの驚くべき一貫性である。現実直面し、この眼差しはあらゆる可能性も、あらゆるユートピアも予め排除することなく、戦闘中の帝国から発せられる諸々の語りの命令に抵抗しているように思われる。発表では、現在製作中の、山中貞雄に関するドキュメンタリー映画からの抜粋映像を使用する。

18:00-20:00, WEDNESDAY, NOVEMBER 6, 2013

COLLABORATION ROOM (4F), BLD. 18, UNIVERSITY OF TOKYO, KOMABA
LANGUAGE | ENGLISH | ADMISSION FREE | NO REGISTRATION REQUIRED

2013年11月6日(水) 18:00~20:00

東京大学駒場キャンパス18号館4階コラボレーションルーム2
使用言語: 英語(通訳なし) | 入場無料 | 事前登録不要



Organized by University of Tokyo Center for Philosophy (UTCP) UTCP Program of Excellence
主催: 東京大学大学院総合文化研究科附属 共生のための哲学研究センター(UTCP) 卓越プログラム

